

年金のはなし

納めた国民年金保険料は、全額が社会保険料控除の対象

国民年金保険料は所得税法及び地方税法上、健康保険や厚生年金などの社会保険を納めた場合と同様に、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除され、税額が軽減されます。

控除の対象となるのは、平成28年1月から12月までに納められた保険料の全額です。過去の年度分や追納された保険料も含まれません。

また、ご自身の保険料だけでなく、配偶者やご家族（お子様等）の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合、その保険料も合わせて控除が受けられます。

なお、平成28年中に納付した国民年金保険料について、社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告を行うときに、領収証書など保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要となります。

このため、平成28年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方には、11月上旬に日本年金機構から「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」



年金情報流出事案に関する電話窓口の変更

昨年5月に発生した不正アクセスによる情報流出事案への対応として、専用電話窓口（0120-818211）を設置してきましたが、9月以降は下記のとおり変更となりました。

- 日本年金機構「ねんきんダイヤル」
0570-05-1165（ナビダイヤル）
- 受付時間 月曜日 8：30～19：00
火～金曜日 8：30～17：15
第2土曜日 9：30～16：00

保健福祉課戸籍担当
電話 56・2123

が送られますので、申告書の提出の際には必ずこの証明書または領収証書を添付してください。（平成28年10月1日から12月31日までの間に、今年初めて国民年金保険料を納められた方へは、翌年の2月上旬に送られます。）
詳しくは「国民年金保険料専用ダイヤル」（0570・0111・050）またはお近くの年金事務所へお問い合わせください。

暮らしの何でも相談所

ご相談は無料・秘密は守ります

行政相談員は、毎日の暮らしの中で生じる国や特殊法人への苦情、行政の仕組みや手続きに関する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

- ◆日時・場所
10月21日（金）
9時～12時 トナムコミュニティセンター
14時～17時 占冠村コミュニティプラザ

- ◆占冠村担当行政相談委員
五十嵐正子



■お問い合わせ先 総務課総務担当 電話 56-2121

占冠村の放射線量の状況（9月）

測定日 9月8日

【単位：マイクロシーベルト毎時】

測定場所	測定時間	天候	測定値	測定場所	測定時間	天候	測定値
占冠中央小学校グラウンド	9：35	曇り	0.054	占冠へき地保育所グラウンド	9：40	曇り	0.046
双民館グラウンド	9：55	曇り	0.045	トナム小中学校グラウンド	10：50	曇り	0.056
占冠地域交流館グラウンド	10：15	曇り	0.059	トナムへき地保育所グラウンド	11：00	曇り	0.049

※北海道の空間放射線率モニタリング結果（上川総合振興局0.0209～0.0900）と比較して平常レベルと判断されます。

「北海道の空間放射線率モニタリング結果」は、下記のホームページで公開されています。
【北海道衛生研究所】「環境放射線測定結果」 <http://www.iph.pref.hokkaido.jp/>

■お問い合わせ 総務課総務担当 電話56-2121



第47回ふれあい広場に参加してきました！

平成28年9月3日に第47回ふれあい広場が開催されました。その中で、今年も貴重なお時間をいただき、参加者と一緒に消防三択クイズを行いました。15分程度の短い時間ではありましたが、クイズや実際の火災の映像を見たりなど、ゲームを通して参加者の防火意識の向上を図ることができたと思います。クイズにも出題をしましたが、平成27年北海道の火災原因第1位



救急出場状況（8月分）

交通事故	2件	(2人)
労働災害	1件	(1人)
運動競技	1件	(1人)
一般負傷	4件	(4人)
急病	6件	(6人)
8月計	14件	(14人)
累計	112件	(103人)

※（ ）内は搬送人員

はコンロ（160件）です。コンロを使用する際は、傍から離れないこと、離れるときは火を消すなど火の元に十分注意してください。

秋の火災予防運動 10月15日～31日 17日間

また、今年も秋の火災予防運動が実施されます。これを機会に今一度、火の元の点検、取扱いの見直しをしてみてください。消防では、期間中に村内を広報巡回し、火災予防強化に努めてまいりますので、皆様のご協力のほどよろしくお祈いします。

消防団員募集!! 詳細は庶務係まで 電話56・2119

富良野広域連合 富良野消防署占冠支署 ☎56-2119

■雨天時の注意点
雨天時は、道路を横断する歩行者や路肩にいる歩行者を発見しにくいです。特に、夜間は視界が一層悪くなる上、路面が対向車のヘッドライトなどで反射し、センサーラインや横断歩道等を見落としてし

■日没時間帯は要注意!
歩行者の死亡事故は、日没から日没後2時間以内に多発する傾向にあります。特に高齢者の被害が多いので、外出の際は反射材などを装備して、事故防止に努めましょう。

峠などの山間部では、早朝や夜間に路面が凍結している可能性が考えられます。タイヤやワイパーなど、早めに交換をお願いします。
運転感覚も冬型に切り替えていかなければなりません。早めのブレーキ、長めの車間距離、早めのライト点灯を心がけましょう。橋の上、トンネル、山間部やカーブなどスリップ事故が発生しやすい場所には、十分注意して運転しましょう。

『交通事故死ゼロ日 3500日』達成!
冬の準備をお早めに! これからも安全運転で!

交通安全 SAFTY DRIVE

村民の願いです
続けよう交通事故死 0 の日
平成19年2月21日から

3500日

SS 平成28年9月20日現在

■車が水没してしまつたら
自動車のドアは、ドアの高さの半分程度の水位で水圧により開かなくなつてしまいます。また、窓は電気制御なので、水が車内に入り込んで電気系統がショートしてしまつた場合は開かなくなつてしまいます。自動車の窓は大人の男性でも、なかなか素手では割ることが出来ません。脱出口を確保するためにも、車載用の窓を割るハンマー等を備え付けておきましょう。

まう危険性があります。
大雨時は、タイヤと路面の間に水が入り込み、ハンドルやブレーキが利かなくなるハイドロプレーニング現象に要注意です。ハイドロプレーニング現象の発生には、水たまりの深さ・自動車の速度・タイヤの摩耗具合等が関わっています。水たまりの深さは天候次第ですが、速度やタイヤについては自分でコントロールできるものです。とにかく、路面が濡れていたり、大雨の中運転する際は、速度を抑えて運転しましょう。